

# 金沢学院大学・金沢学院短期大学

## 二〇二二（令和三）年度 入学者選抜試験問題

### 一般選抜Ⅰ期〈二日目〉

二〇二二年二月五日（金）実施

# 国 語

#### I 注意事項

解答用紙に「国語」と記入・マークしてから解答してください。

問題は1ページから18ページまであります。

第3問、第4問、第5問は受験する学科・専攻によって解答する設問が異なりますので、注意してください。

問題は持ち帰ってもよいですが、コピーして配布・使用するのには法律で禁じられています。

#### II 解答上の注意

解答用紙は、マークシート用紙と記述用解答用紙の2種類があります。

マーク式の問題で、「解答番号は10」と表示のある問いに対して④と解答する場合は、下記の例のようにマークしてください。記述式の問題には「解答は記述用解答用紙」と表示がありますので、記述用の解答用紙に記入してください。

(例)

解答番号	解 答 欄
10	① ② ③ ● ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩



問題は次のページからです。

## 第1問 次の文章を読んで、後の問い(問1～7)に答えよ。

14世紀の西欧をペストが襲いかかったように、17世紀から18世紀にかけて新たなペストが西欧で猛威を振るいました、それは天然痘という伝染病です。みなさんはペストや天然痘という言葉を書いてもピンとこないかもしれませんが、ペストは1348年にヨーロッパの人口の3分の1を奪った伝染病です。また天然痘は、1632年にピサロという征服者がインカ帝国を滅ぼす道具として使った伝染病と伝えられています。これらの話だけで、ペストや天然痘がどれほどたくさんの人々の命を奪った伝染病であったかが、うかがわれることでしょう。

しかしながら、14世紀において、ペストにかかっても症状が比較的軽くすんで、その後なぜか二度とペストにかからなかった人たちがいたように、18世紀においても天然痘の苦しみから、なぜか免れていた人たちがいました。それは、牛痘という牛の伝染病にかかった乳搾りの女性たちです。

「天然痘も牛痘も似たようなものだ。牛痘にかかった牛と身近に接していた乳搾りの女性たちは、軽い天然痘のようなものをすでに経験済みで、だからヒトの天然痘にかからないのだろう」——そのように考えた鋭い男がいました。やがて男は牛痘にかかった乳搾りの女性の腕の膿をある子どもに注射するという、一見ものすごく不潔で<sup>①</sup>ダイタンなことを行いました。その注射でその子どもに「もしも」のことが起これば男は罪を問われこそすれ、歴史に名を残すことはなかったのですが、その子にとつても男にとつてもとても幸運なことに、その子は天然痘から免れることができたのです。男の名前はエドワード・ジェンナー(1749～1823年)、そして「その子ども」はジェンナーの実の子どもとも孤児とも伝えられています。いずれにしても「その子」のからだに悪いことが起こらなかったのは本当に良かったことです。(a)天然痘の予防に成功したのですから(ア)幸運中の幸運でした。これが世にいうジェンナーの種痘です(1798年)。

このころ、18世紀末では天然痘の病原微生物はまだ明らかではありませんでした。しかしこの時すでに「二度なし現象」<sup>(注1)</sup>を利用した伝染病の予防法が発明されたのです。やがてさまざまな病原微生物が発見された19世紀末、これらの病原微生物を弱毒化し、注射して伝染病を予防するという方法がパスツールによって開発されました。

〈中略〉

「織田がつき、羽柴がこねし天下餅」<sup>(注2)</sup>といういい方のまねをすれば、「ジェンナーがついて、パスツールがこねた伝染病の予防法」ということになります。パスツールはジェンナーに敬意を表して、この予防法に雌牛(Vacca)に由来するワクチン(Vaccine)療法という名をつけたのです。「ワクチン」という言葉の由来は、ジェンナーが目をつけた「牛」だったのです。

18世紀末にジェンナーがついて、19世紀末にパスツールがこねた「ワクチン餅」。これを座って食べることができるようになった。二人のおかげで、私たちは幸いにも天然痘という病気を知りません。それは、ジェンナーが天然痘を予防する方法を発見し、この方法をパスツールがワクチン療法という<sup>②</sup>セレンシされた形で発展させてくれたおかげで、天然痘が根絶されたからです。そして、1980年5月8日にWHOによって発表された全世界天然痘根絶宣言は、「ワクチンという武器を手にした人類の勝利」とさえ謳<sup>うた</sup>われました。

しかし、<sup>①</sup>本当に人類は勝利をおさめたのでしょうか。歴史を振り返ってみると、人類はいつの時代も病気と向き合っていたことに気がきます。(b)、西欧では14世紀にはペストが、17世紀から18世紀にかけては天然痘が、19世紀にはコレラと結核が猛威を振るってきました。そして20世紀末にはエイズという「新たなペスト」が登場しました。私たちはいまだにエイズの病原微生物、すなわちエイズウイルスに対するワクチンを作ること成功していません。それはエイズウイルスが、めまぐるしく衣を変えるかのように表面の分子の形を変えていくので、これを攻撃しようとする私たちの免疫担当細胞たちが追いつけないからです。そして、そうこうしているうちに免疫のしくみそのものがエイズウイルスによって破壊されてしまうのです。

免疫のしくみの根本を揺さぶる新たな病原微生物の<sup>③</sup>トウライ。エイズの症例がはじめて報告されたのが、全世界天然痘根絶宣言の翌年の1981年であったのは、たんなる偶然でしょうか。いつかきっと人類はエイズを根本的に治療する方法を見つけることでしょうか。(c)、それを「人類の勝利」などと謳っている頃には、また「新たなペスト」が出現しないとも限らないのです。

〈中略〉

疫病、すなわち伝染病から身を守るしくみを解き明かそうとする強い動機から誕生した免疫学。しかし、時が経つにつれて事は単純ではないことがわかってきました。

免疫というしくみは、ただちに「自分を攻撃せず、自分でないものだけを攻撃する」という単純なしくみではないことがわかってきました。(d)、免疫を担当する細胞たちは、「自分」を攻撃してしまうこともあれば(自己免疫)、逆に「自分でないもの」を「あえて」攻撃しないこともあります(非自己への<sup>X</sup>)。免疫を担当する細胞たちが「自分でないもの」を「あえて」攻撃しないしくみがあるからこそ、胎児はお母さんのおなかの中で十月十日過<sup>とつとつか</sup>ごすことができます。

また、「自分でないもの」を攻撃しないしくみを巧みに利用して私たちのからだに居着いてしまう悪いヤツもいます。それはがん細胞です。がん細胞はもとと正常であった細胞が変化してしまった異物、すなわち「自分でないもの」なのですが、胎児がお母さんの免疫の攻撃をくぐり抜けるのとよく似た作戦を使って、免疫の攻撃から逃亡するのです。

免疫は「自分」を攻撃せず「自分でないもの」だけを攻撃するしくみだと思っていたら、免疫は「自分」を攻撃することもあれば「自分でないもの」を許すこともある……、そうになると、いったい「自分」とはなんなのでしょか？

それは、さまざまな細胞たちがお互いに相互関係を結ぶことで積極的に作り出される「ドラマ」あるいは「アクト（行動、劇）」そのものです。たとえば「自分」に反応しそうな危険な細胞たちを除去したり、やる気をなくさせたり、<sup>④</sup>ゴウインに邪魔したり、といるるなことをやりながら日々積極的に創られているのが「自分」なのです。「物質」ではなく、アクト（行動）そのものとしての「自分」、それは時には<sup>⑤</sup>ゴウミョウで、時には滑稽なドラマです。

詩人であり、科学者でもあった宮沢賢治は、「わたくし」を固定化された「もの」としてではなく、せわしく揺れ動く「現象」として歌い上げています（「わたくしという現象」、春と修羅 第一集、1924年）。現代の免疫学は、まさに「現象としてのわたくし」を少しずつ解き明かそうとしているのです。

（萩原清文「好きになる免疫学」による。一部改変。）

（注）1 二度なし現象——一度感染した病原体には二度と感染しない、もしくは、感染しても軽症ですむという現象。

2 織田がつき、羽柴がこねし天下餅——江戸の天保期あるいは嘉永期に生まれたと思われる狂歌「織田がつき羽柴がこねし天下餅 座して喰らふは徳の川」を踏まえた表現。

問1 傍線部①～⑤に当たる漢字を含むものを、次の各群の①～⑤のうちからそれぞれ一つずつ選べ。解答番号は 

1
---

 ～ 

5
---

。

- ① ダイタン

1
---
- ① いつでも準備はバンタンである。      ② 彼はレイタンな表情を見せた。      ③ グループで作業をブンタンする。
- ④ 試合に負けてラクタンする。      ⑤ いつもタンネンな仕事ぶりだ。

② センレン 2

① 雑誌に小説をレンサイする。 ② 彼女に振られてシツレンした。 ③ レンカな商品を販売する。

④ ジュクレンした労働者を雇う。 ⑤ 中世で発展したレンキン術。

③ トウライ 3

① 長い道のりをトウハした。 ② 問題集の難問とカクトウする。 ③ 夜に飛行機にトウジョウする。

④ 急な坂道でテントウする。 ⑤ 人気商品に客がサットウした。

④ ゴウイン 4

① 詩歌のヨインある表現。 ② 過去の不祥事をインペイする。 ③ 会社をインセキ辞任する。

④ 役所にコンインの届を出す。 ⑤ 村のインシュウに縛られる。

⑤ コウミョウ 5

① 友人からキミョウな話を聞いた。 ② 仏様はムミョウの闇を照らし出す。 ③ お客の喝采は役者ミョウリに尽きる。

④ 不惜シンミョウの侍たちと戦う。 ⑤ 先代のミョウセキを受け継いだ。

問2 空欄 ( a ) ( b ) ( c ) ( d ) に入る接続詞として、それぞれ最も適当と思われるものを、次の①～⑥のうちから一つずつ選べ(同じ記号を複数選んではいけない)。解答番号は a 6、b 7、c 8、d 9。

① しかし ② ところで ③ しかも ④ それとも ⑤ たとえば ⑥ すなわち

問3 空欄 X には二字の熟語が入るが、最も適当と思われるものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。解答番号は 10。

① 礼賛 ② 猶予 ③ 拒絶 ④ 寛容 ⑤ 無視

問4 傍線部(ア)「幸運中の幸運でした」とあるが、ここではどういうことか。その説明として最も適当と思われるものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。解答番号は 11。

- ① 乳搾りの女性の腕の膿を注射されたのに、「その子」のからだに悪いことが起こらなかったこと。
- ② 「その子ども」がひどい病気にならなかっただけでなく、牛痘からも免れることができたこと。
- ③ 「その子ども」のからだに悪いことが起こらなかっただけでなく、天然痘の予防にも成功したこと。
- ④ ジェンナーの実の子どもとも孤児とも伝えられている「その子ども」が、天然痘から免れたこと。
- ⑤ ジェンナーが罪に問われなかったうえに、「その子ども」のからだに病気も起こらなかったこと。

問5 傍線部(イ)「本当に人類は勝利をおさめたのでしょうか」とあるが、その問いに対して本文の筆者は否定的である。その根本的な理由として最も適当と思われるものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。解答番号は 12。

- ① ワクチン療法によって天然痘が根絶され、WHOによって全世界天然痘根絶宣言が発表されても、19世紀にはコレラと結核が猛威を振るったという歴史的事実があるから。
- ② 20世紀末にはエイズという「新たなペスト」が登場し、私たち人類はいまだにエイズウイルスに対するワクチンを作ることには成功していないから。
- ③ めまぐるしく衣を変えるかのように表面の分子の形を変えていく病原微生物が存在し、これを攻撃しようとする人間の免疫担当細胞たちが追いつけないから。
- ④ 人類はいつの時代も病気と向き合っており、ある伝染病の予防法を発見しても、免疫のしくみの根本を揺さぶるような新たなウイルスが出現しないと限らないから。
- ⑤ がん細胞のように、胎児がお母さんの免疫の攻撃をくぐり抜けるのとよく似た作戦を使って、免疫の攻撃から逃亡するようなウイルスが存在するから。

問6 本文全体を読んで、次の①～⑤のそれぞれの文について、本文の内容に当てはまるものにマークシート用紙の①、当てはまらないものにマークシート用紙の②をマークせよ。解答番号は①＝13、②＝14、③＝15、④＝16、⑤＝17。

- ① 西欧を襲ったペストは、ピサロという征服者がインカ帝国を滅ぼす道具として使った伝染病と伝えられている。
- ② ジェンナーが天然痘の病原微生物を発見し、その病原微生物を弱毒化し、注射して天然痘を予防することに成功した。
- ③ 免疫は「自分を攻撃せず、自分でないものだけを攻撃する」という単純なしくみではなく、自己と非自己との境界をめぐって、自己とは何かという問いをはらんでいる。
- ④ 現代の医学は、免疫を担当する細胞たちが「自分でないもの」を攻撃しないしくみを巧みに利用して、本来なら拒絶反応のあるような臓器移植を可能にしている。
- ⑤ 現代の免疫学は、「自分」を固定化されたものではなく、さまざまな細胞たちによって日々積極的に創られ、揺れ動く「現象としてのわたくし」として捉えている。

問7 傍線部(ウ)「現象としてのわたくし」とあるが、本文全体を踏まえながら、次の□に入る適切な文章を60字以内で答えることで、「免疫」という観点からわかりやすく説明せよ(ただし、句読点を含む)。解答は記述用解答用紙。

「わたくし(自分)」とは、固定化された「もの」や“物質”ではなく、□である。

第2問 次の文章を読んで、後の問い（問1～7）に答えよ。

初恋をファースト クラッシュと呼ぶのを知ったのは、もう何年も前のことだ。

あるアメリカのオーディション番組を観ていたら、審査員のひとりが天を仰ぐようなポーズを取って叫んだのだった。

「ザート ワズ マイ ファースト クラッシュ!!」

その回は、チャリティのための公開放送で、視聴者からのさまざまな意見や感想を受け付けていた。電話の声が同時進行でステージ上のスクリーンに打ち込まれ、それを目と耳で確認しながら、観客も審査員もオーディションの参加者たちも、おおいに笑ったり、はしゃいだり、時に反論したりして大騒ぎをするという趣向。

その中で、ひとりの女性視聴者が件の審査員を名指して話し始めた。

「あんなに小さくて泣き虫の男の子だったのにねえ、ずい分とりっぱになつて偉そうに喋<sup>しゃべ</sup>ってる……」

審査員は、まさか!! という表情を浮かべて、尋ねる。

「き、きみの名前は？」

「アンジェラ。アンジェラよ、ベイビー」

そこで、彼は、しばし呆然<sup>ぼうぜん</sup>とした後、叫んだのである。あれは、ぼくのファーストクラッシュだった、と。

普段は、冷静で皮肉屋のポーズを崩さないその審査員が、顔を真っ赤にして恥ずかしがり、そして、涙を浮かべんばかりに懐しさをあらわにするのを見て、私は思ったのだ。こなるほど。クラッシュという言葉は相応しい。

でも、どちらなんだろう。車や飛行機が、衝突したり墜落したりする時に使う“crash”なのか、粉々に砕いたり、ぺしゃんこな状態にするのを意味する“crush”なのか。

調べてみたら後者だった。“crush”。ま、どちらも似たようなものか、出会い頭にぶつかって、衝突して墜落して粉々に砕かれるもの。

初恋は、しばしば「ファースト ラヴ」と訳されるけれども、そこでイメージされる淡い想いとか甘酸っぱい感じとは全然違ふと私は感じている。少なくとも、私の場合は違っていたということだ。可愛らしく微笑ましいものなんかじゃなかった。それは、相手の内なる何かを叩き壊<sup>たた</sup>したいという欲望。まさに、クラッシュな行為。

でも、粉々にされて美しさを増したり、いつそう美味になったりするものもある。もちろん、そこなわれて取り返しが付かなくなる事態も。

私は、もうじき五十に手が届こうとする年頃で、周囲からはすっかりおばさん扱いされているが、実は、<sup>(イ)</sup>脳みその中にはクラッシュされた欠片がびっしりとちりばめられていて、それらは常にきらめいているのだ。そのことに優越感を抱いているから、平気。後ろから自転車で追い抜こうとして、もたもた歩いている私に舌打ちをする若者がいたって、どってこともない。

心のともしびをかざすだけで、私の頭の中に展示された記憶の欠片たちは、まるでプリズムのように光を色分けして輝く。それは、<sup>(カ)</sup>絢爛豪華である時も、しっとりした哀しみを帯びることも、なごみの暖かさであたりを包む場合もある。もちろん暗黒を際立たせるかのごとく怪しくきらめいたり、暴力的な光線を放つたりも。

折にふれて過去に旅をして、それらを鑑賞するのだ。若い頃には絶対に味わえなかった楽しみ。私は、自分が遭遇して来たいくつものクラッシュについて、これからも<sup>(ク)</sup>反芻するのを止めないだろう。

「おばさん、これ、二十パーセント割引きの筈でしょ？」

いつも私の働くこのスーパーに閉店前に駆け込んで来る客が、レシートを差し出した。若い女だ。

「えーと、あ、ほんとだ、申し訳ありません」

訂正して返金しようとする私に、その女は小さく舌打ちをした。舌打ちって、本当に、やな行為。すごく下品だと思う。それに、この人、私をおばさんと呼んで見下した視線を送って来た。腹は立たないけど、馬鹿なんじゃないの、と呆れてしまう。若いというだけで上位に立ったように勘違いする馬鹿女。若さが価値を持つのは、その人間が **A** した場合だけだ。偉そうにしたかったら早死にしろ。

私は、早くに死んだ偉い人々を何人も知っている。その点に関して物知りだ。これも、早死にしないで、どうにかここまで来たおかげだと自分で自分を誉めてやりたい。

「高見澤さんって、値引きのシール、よく見逃すよね」

隣で袋詰めをしていた石田さんが言った。

「申し訳ありません、うっかりしちゃって」

私は、肩をすぼめて、小さく頭を下げる。<sup>(キ)</sup>申し訳ありません、が枕詞のようになった職場の私。

「いいんだって。こういうところで働いたことなかったんでしょ？」

私は、曖昧に微笑んだ。石田さん、優しい。好き。ここは、高級スーパーマーケット。安さだけを求める客は来ないけれども、それでも色んな人たちが訪れる。バイト代が入って、嬉々として食材を選びに来る食いしん坊の学生さんや、独身生活を楽しんでる食通の中年男や、当たり前前に日々の買い物をする裕福な奥さん……などなど。私も、昔は、何の疑問も持たずに、ここに足を踏み入れていたっけ。そして、これっぽっちの逡巡もなしにフランス製の高級バターを籠に入れていた。

そう、私は、今、スーパーのレジにいるただのおばさんとして、何食わぬ顔をしているが、本当は隅に置けない人物なのだ。頭の中は、数々のクラッシュされた味わい深い記憶で満たされているし、エシレバターの味も知ってる。もちろん、カルピスバターもグラスフェッドバターもだ。

この年齢まで生きた喜びと、そこに立ち込めるそこはかとない悲しみに似たものの中で、私は、自身の過去をながめる。これが至福か。中でも、一番最初の、まさにファースト クラッシュと呼ぶものについて思い起こす時、大事な宝物が過去に埋まっているのをつくづくと知る。

前向きに生きよう。未来を見詰めよう。きっと素晴らしいことが待っている。若い頃は、その種の明るい言葉に洗脳されがちだけど、そんなのは嘘っぱちだ。

人間のすべては、過去にある。そして、過去が刻み続けてきた現在で、その人の歴史は止まっているのだ。そう思い始めてから、私は、後ろ向きで生きることに決めた。五分後、いえ、一分後にだって、どうなっているか解らない。死んでいるかもしれないよ。

(山田詠美「ファースト クラッシュ」による。一部改変。)

問1 傍線部(ア)「なるほど。クラッシュという言葉は相応しい」とあるが、「私」がそう思ったのは何がクラッシュしたと考えたからなのか。①～⑤のうちから最も適当なものを一つ選べ。解答番号は 18。

- ① 審査員の出演者に対する権威
- ② 審査員の自ら装っていた性格
- ③ 番組で予定していた進行の段取り
- ④ 楽しく大騒ぎをするという番組の目的
- ⑤ 審査員の家庭の平和や社会的信用

問2 傍線部(イ)「脳みその中にはクラッシュされた欠片がびっしりとちりばめられていて、それらは常にきらめいているのだ」とはどういうことか。

①～⑤のうちから最も適当なものを一つ選べ。 解答番号は 。

- ① 初恋の相手によって碎け散った心の傷が、時間を隔てた現在でも少しも癒えていないということ。
- ② 初恋の頃の若々しい自分の姿は、思い出すたびに自分に常に生きる勇気を与えてくれるものであるということ。
- ③ 初恋の相手との夢のような至福の体験の方が、今の自分の現実よりも現実らしく感じられるということ。
- ④ 初恋の相手との切なくつらい思い出も、今になってようやくよくなつかしいものとして受け入れられるようになったということ。
- ⑤ 初恋の相手との様々な思い出が、今の自分からはかけがえない貴重なものとして、愛おしく感じられるということ。

問3 傍線部(ウ)「反芻する」、(カ)「何食わぬ顔」、(キ)「隅に置けない」の本文中の意味として最も適当なものを、次の各群の①～⑤のうちから一つ

ずつ選べ。 解答番号はウ 、カ 、キ 。

(ウ) 反芻する

- ① 折に触れて振り返って自戒する。
- ② 粘り強く真実を追求する。
- ③ 繰り返し思い出して堪能する。
- ④ 何度でも自分に言い聞かせる。
- ⑤ 心の中にそっとしまっておく。

(カ) 何食わぬ顔

- ① ひとつも知らないような顔。
- ② 無邪気であどけない顔。
- ③ 疲れていて生氣のない顔。
- ④ 感情を押し殺した顔。
- ⑤ 印象に残らない平凡な顔。

(キ) 隅に置けない

- ① 意外性のある
- ② 味のある
- ③ 社交的な
- ④ あなどれない
- ⑤ 悪意に満ちた

問4 空欄Aにあてはまる語を、次の①～⑤のうちから一つ選べ。解答番号は23。

- ① 早熟                      ② 晩成                      ③ 往生                      ④ 遁世とんせい                      ⑤ 夭折ようせつ

問5 傍線部(エ)「申し訳ありません、が枕詞のようになった職場の私」とはどういうことか。次の①～⑤のうちから最も適当なものを一つ選べ。

解答番号は24。

- ① 慣れない仕事をやらされているので、同僚に対しては「申し訳ありません」という言葉を常に忘れないように気をつけているということ。  
② いつも優しくしてくれる石田さんには、毎回心から「申し訳ありません」という言葉を口に出して伝えているということ。  
③ たびたび同僚に謝っているうちに「申し訳ありません」という言葉を口に出すことが、それほど苦にならなくなったということ。  
④ 失敗ばかりしているので、職場で会話するときは、ほとんど無意識に最初に「申し訳ありません」が口について出てくるということ。  
⑤ 同僚にいじめられているので、何を言うにも自分を守る呪文のように「申し訳ありません」と祈るようになえているということ。

問6 傍線部(オ)「これっぽっちの逡巡もなしにフランス製の高級バターを籠に入れていた」とあるが、ここから「私」のどのような過去が読み取れるか。

次の①～⑤のうちから最も適当なものを一つ選べ。解答番号は25。

- ① 恋をしていたということ。                      ② 独身だったということ。                      ③ 裕福だったということ。  
④ 傲慢だったということ。                      ⑤ 未熟だったということ。

問7 傍線部(ク)「後ろ向きで生きることを決めた」とあるが、「私」はどのようなことを決めたのか。「～ではなく、～ということ。」という形で40字以

内で述べよ(ただし、句読点を含む)。解答は記述用解答用紙。

第3問、第4問、第5問は受験する学科・専攻によって解答する設問が異なりますので、注意してください。

【大学】 文学科（英米文学専攻・心理学専攻）

教育学科

経済学科

経営学科

経済情報学科

芸術学科

スポーツ科学科

栄養学科

【短大】 現代教養学科

食物栄養学科

幼児教育学科

上記学科・専攻の受験者は、第3問と第4問を解答しなさい。

（13ページ～16ページ）

【大学】 文学科（日本文学専攻・歴史学専攻）の受験者は、第5問【古文】を解答しなさい。

（17ページ～18ページ）

第3問 次のA～Eのことわざについて、空欄  に当てはまる語を【語群】①～⑥のうちから、意味を【意味】①～⑥のうちから選べ。

解答番号は  26  35 。

A	「 <small>あぶ</small> 虻」 <input type="text"/> 26「取らず」	意味	<input type="text"/> 27
B	「 <input type="text"/> 28の真似をする鳥」 <small>かたず</small>	意味	<input type="text"/> 29
C	「海老で <input type="text"/> 30を釣る」	意味	<input type="text"/> 31
D	「 <input type="text"/> 32が葱を背負 <small>むし</small> ってくる」	意味	<input type="text"/> 33
E	「鶴は千年、 <input type="text"/> 34は万年」	意味	<input type="text"/> 35

【語群】

- ① 燕 つばめ
- ② 鯛 たい
- ③ 鰯 いわし
- ④ 蜂 はち
- ⑤ 鶉 う
- ⑥ 蛙 かえる
- ⑦ 亀 かめ
- ⑧ 鴨 かも
- ⑨ 雉 きじ
- ⑩ 鷹 たか

【意味】

- ① 失敗にこりてしまつて、用心し過ぎること。
- ② 寿命が長くてめでたいこと。
- ③ 好都合が重なりさらに都合がいいこと。
- ④ 身の程をわきまえず他人と同じことをしても失敗する、ということ。
- ⑤ 少しの元手で、またわずかの労力によって大きな利益を得ること。
- ⑥ 二つのものを両方手に入れようとしてどちらも得られないこと。

第4問 次の文章を読んで、後の問いに答えよ。

これまでの平均寿命の上昇は、人生のいくつかの段階でそれぞれ死亡率が改善した結果として実現してきた。最初は、乳幼児死亡率の改善が平均寿命を大幅に押し上げた。いま先進国に生きている人は、子どもの死亡率が高かった時代をほとんど想像できないだろうが、ビクトリア朝時代（<sup>暁</sup>）のイギリスの作家たちは幼い死の悲劇をありありと描いている。チャールズ・ディケンズの『骨董屋』のリトル・ネルは、最後に14歳で死ぬ。シャーロット・ブロンテの『ジェーン・エア』では、主人公のジェーンが学ぶ寄宿学校ローウツド学院でチフスが流行し、親友のヘレンも結核によりジェーンの腕の中で死ぬ。これらの小説に描かれているのは、特別な出来事ではなかった。ディケンズやブロンテは、身近に起きていた出来事を作品に記したのだ。

1920年代以降の平均寿命の改善は、子どもの死亡率が低下した結果という面が大きい。

A

政府が保健分野のイノベーションを後押ししたこと、栄養水準が改善したこと、そして、人々の意識が向上して健康的な生活を送るようになったことが好結果につながった。

次に、中年年の慢性疾患、とくに心臓血管系の病気と癌<sup>がん</sup>の対策が進んだことが平均寿命の大幅な上昇をもたらした。20世紀の小説家たちは、幼い死を書くことはなくなったが、みずからがこの時代らしい病気で倒れた。シャーロック・ホームズの生みの親であるアーサー・コナン・ドイルは、1930年に肺炎で死亡した。71歳だった。「ジェームス・ボンド」シリーズのイアン・フレミングは1964年、心臓発作により56歳で死んだ。

B

ノーベル経済学賞受賞者のアンガス・デイトンの言葉を借りれば、こうした疫学上の変化は、多くの人の命を奪う病気の所在が乳幼児の腸や肺から中年の血管に移った時代に起きたものだ。

この次に平均寿命を大きく上昇させるのは、高齢にまつわる病気の克服だろう。高齢者の平均余命は、すでに大きく改善しはじめている。

〈中略〉

C

どの要因の影響が最も大きいかについて、人口学者の見方は一様でないが、専門家の共通認識に最も近いのはサミュエル・プレストンの研究だろう。プレス

トンの推計によれば、所得の上昇と栄養状況の改善が平均寿命上昇の要因の約25%を占めているが、大きな要因としては、感染症の媒介生物の駆除、医薬品、予防接種といった公衆衛生関連のイノベーションが挙げられるという。啓蒙活動が果たした役割も大きかった。たとえば、喫煙と寿命の関係についての啓蒙キャンペーンは大きな効果をもった。

〈中略〉

いま途上国で生まれる子どもが100歳まで生きる確率は、先進国の子どもより低い。しかし、先進国で平均寿命を引き上げた要因が途上国でも平均寿命を押し上げはじめている。

D

それと同じことが世界中で起きている。貧しい国は、平均寿命の出発点こそ豊かな国より下だが、おおむね豊かな国と同様の変化を経験しはじめているのだ。

1900年、インドの平均寿命は24歳、アメリカは49歳だった。1960年、アメリカの平均寿命は70歳まで延びたが、インドは41歳にしか延びていなかった。この60年間で両国の差は広がったのだ。しかし、インドの経済成長が加速すると、差は縮まりはじめた。2014年、インドの平均寿命は67歳に達した。国連の予測によれば、今後も10年ごとに約2年のペースで平均寿命が延びていくという。インドはアメリカより低い場所から出発したが、アメリカと同じような形で平均寿命を延ばしているのだ。

E

豊かな国がその時代を一足先に迎えるだけにすぎない。

(リンダ・グラットン、アンドリュー・スコット著、池村千秋訳)

『LIFE SHIFT — 100年時代の人生戦略』による。(一部改変。)

(注) ビクトリア朝時代 — 1837年から1901年まで、ビクトリア女王がイギリスを統治していた期間を指す。

問 空欄 A E の中には、次の①～⑤のいずれかの文章が入る。最も適当なものを一つずつ選び、記号で答えよ。

解答番号は A 36、B 37、C 38、D 39、E 40。

- ① いま、多くの国で同様のことが起きている。1000年ライフは、世界規模に拡大しはじめているのである。
- ② 結核、天然痘、ジフテリア、チフスなど、リトル・ネルやヘレンのような子どもたちの命を奪った感染症の多くが抑え込まれたのである。
- ③ 平均寿命の上昇には、健康、栄養、医療、教育、テクノロジー、衛生、所得といった多分野における状況の改善が関係している。
- ④ 先進国では、所得の上昇、栄養状況の改善、医療の向上が子どもの死亡率を低下させた。
- ⑤ しかし、病気の早期発見、治療と処置の改善、禁煙などの啓蒙活動の強化により、次第に健康水準が向上していった。

第5問【古文】 次の文章は『大和物語』の一節である。これを読んで、後の問い（問1～5）に答えよ。

帝<sup>(注1)</sup>、おりみ給ひてまたの年の秋、御ぐしおろし給ひて、ところどころ山踏みし給ひて、<sup>(ア)</sup>おこなひ給ひけり。備前の掾<sup>(注2)</sup>にて、橘<sup>(注3)</sup>の良利といひける人<sup>(注4)</sup>、内<sup>(ア)</sup>におはしましける時、殿上に<sup>(イ)</sup>候ひける、御ぐしおろし給ひければ、<sup>(ウ)</sup>やがて御ともに、かしらおろしてけり。

人にも知られ給はでありき給うける御ともに、<sup>(カ)</sup>これなむおくれ<sup>(キ)</sup>奉らで候ひける。「かかる御ありき給ふ、いとあしきことなる」とて、内より、「少将、中将、これかれ、候へ」とて奉れ給ひけれど、<sup>(ク)</sup>たがひつつありき給ふ。和泉の国にいたり給うて、日根といふ所におはします夜あり。いと心細うかすかにておはします事を思ひつつ、いと悲しかりけり。さて、<sup>(コ)</sup>オといふことを歌によめ」とおほせごとありければ、この良利大徳、ふるさとのたびねの夢に見えつるは恨みやすらむまたとはねばとありけるに、みな人泣きて、えよまずなりにけり。

(注) 1 帝——宇多法皇(八六七～九三二)。

2 備前の掾にて、橘の良利といひける人——備前国の国司であった橘良利。宇多法皇に目をかけられていた。

問1 二重傍線部(ア)～(ク)の敬語の種類として最も適当なものを、次の①～③のうちから一つ選べ。

解答番号は a ㉒ 26、 b ㉓ 27、 c ㉔ 28。

① 尊敬語

② 謙讓語

③ 丁寧語

問2 傍線部(ア)「おこなひ」、(イ)「やがて」の意味として最も適當なものを、次の①～⑤のうちからそれぞれ一つ選べ。

解答番号はア＝29、イ＝30。

(ア)「おこなひ」

① 政治を執り行い                      ② 狩りをし                      ③ 勤行し                      ④ あちこち巡り                      ⑤ 生活し

(イ)「やがて」

① すぐに                      ② とうとう                      ③ いつの間にか                      ④ しばらくして                      ⑤ すっかり

問3 傍線部(ウ)「これ」が指し示すものとして最も適當なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。解答番号は31。

① 帝                      ② 橘の良利                      ③ 人                      ④ 内                      ⑤ 少将、中将

問4 傍線部(エ)「たがひつつありき給ふ」とはどういうことか。説明として最も適當なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。解答番号は32。

- ① 橘良利は、都から下された命令にも従わずに、道を歩き続けたということ。
- ② 橘良利は、宇多法皇の進路とは逆の方向に進んでいったということ。
- ③ 宇多法皇は、橘良利の同行を振り切って各地を回っていたということ。
- ④ 宇多法皇は、何度も道に迷いながら良利とともに旅をしていたということ。
- ⑤ 宇多法皇は、宮中から派遣されたお供を避けながら行脚を続けたということ。

問5 空欄「オ」に入る語として最も適當なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。解答番号は33。

① 和泉                      ② ふるさと                      ③ 旅                      ④ 日根                      ⑤ 夢